

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー
 コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 佐藤 真吾
 (氏名) 金子 壮太郎
 配当支払開始予定日

TEL 03-5940-2215
 平成26年5月23日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,856	5.7	146	4.2	149	△27.9	121	△27.2
25年9月期第2四半期	1,756	△9.1	140	△12.5	207	19.2	167	△0.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	21.31	—
25年9月期第2四半期	29.26	—

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、「1株当たり四半期純利益」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	2,598	1,618	62.3	283.36
25年9月期	2,814	1,854	65.9	324.58

(参考)自己資本 26年9月期第2四半期 1,618百万円 25年9月期 1,854百万円

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、「1株当たり純資産」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	2,000.00	—	6,000.00	8,000.00
26年9月期	—	2,000.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	20.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。平成25年9月期及び平成26年9月期第2四半期の配当額は株式分割前の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	4.8	250	△9.7	250	△41.7	230	△50.4	40.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当該分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	5,712,000 株	25年9月期	5,712,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	— 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	5,712,000 株	25年9月期2Q	5,712,000 株

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期中平均株式数(四半期累計)」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては[添付資料]P3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策により円安・株高傾向が継続し、企業業績や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、円安による輸入原材料費の上昇や消費税増税による消費低迷が与える影響等が懸念され、引き続き政府の景気対策が期待される状況にあります。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業におきましては、輸出の改善を背景に国内生産が堅調に推移し、リーマンショック以降続いてきた景況感も転換期を迎えつつあります。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、一般的なIT投資は慎重な姿勢が続いているものの、新たな価値を生み出すビッグデータの有効活用に注目が集まる中、クラウドコンピューティングが躍進し、データセンター関連ビジネスへの投資意欲は高まりつつあります。

このような事業環境の下、契約単価アップ・新規配属を中心とした営業戦略と、採用強化による付加価値の高い人材サービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,856百万円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益146百万円（前年同四半期比4.2%増）、経常利益149百万円（前年同四半期比27.9%減）、四半期純利益121百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は2,598百万円（前事業年度末は2,814百万円）となり215百万円減少いたしました。

（流動資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,253百万円（前事業年度末は2,492百万円）となり238百万円減少いたしました。

主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

（固定資産）

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は344百万円（前事業年度末は321百万円）となり22百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の残高は980百万円（前事業年度末は960百万円）となり19百万円増加いたしました。

（流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は565百万円（前事業年度末は523百万円）となり42百万円増加いたしました。

主な要因は、賞与引当金及び未払消費税の増加によるものであります。

（固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は414百万円（前事業年度末は437百万円）となり22百万円減少いたしました。

主な要因は、長期借入金の減少及び退職給付引当金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,618百万円(前事業年度末は1,854百万円)となり235百万円減少いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び剰余金の配当による減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績につきまして、現時点では、平成25年10月31日に公表しました内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,877,716	1,606,997
受取手形及び売掛金	452,786	478,293
その他	162,012	168,642
貸倒引当金	△47	△48
流動資産合計	2,492,468	2,253,885
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,102	3,971
工具、器具及び備品(純額)	9,509	7,629
有形固定資産合計	12,611	11,600
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	263,784	296,947
敷金及び保証金	28,471	25,909
その他	1,521	885
投資その他の資産合計	293,777	323,743
固定資産合計	321,864	344,702
資産合計	2,814,332	2,598,588
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	34,104	40,818
未払費用	200,405	204,326
未払法人税等	37,330	37,870
未払消費税等	19,660	31,181
賞与引当金	120,261	137,510
その他	51,268	53,620
流動負債合計	523,031	565,327
固定負債		
長期借入金	165,000	135,000
退職給付引当金	270,069	278,060
その他	2,189	1,613
固定負債合計	437,259	414,673
負債合計	960,290	980,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	646,744	425,796
株主資本合計	1,863,001	1,642,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,959	△23,465
評価・換算差額等合計	△8,959	△23,465
純資産合計	1,854,042	1,618,587
負債純資産合計	2,814,332	2,598,588

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,756,806	1,856,078
売上原価	1,338,020	1,413,859
売上総利益	418,785	442,219
販売費及び一般管理費	278,411	295,977
営業利益	140,374	146,241
営業外収益		
受取利息	113	165
受取配当金	5,679	—
投資有価証券売却益	56,523	—
投資事業組合運用益	3,504	6,194
その他	4,048	1,412
営業外収益合計	69,868	7,771
営業外費用		
支払利息	1,450	1,646
投資事業組合運用損	—	2,136
その他	1,699	804
営業外費用合計	3,149	4,587
経常利益	207,093	149,425
特別利益		
受取和解金	—	800
特別利益合計	—	800
特別損失		
訴訟関連損失	—	1,480
特別損失合計	—	1,480
税引前四半期純利益	207,093	148,745
法人税、住民税及び事業税	39,907	35,168
法人税等調整額	—	△8,194
法人税等合計	39,907	26,974
四半期純利益	167,185	121,771

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計
	エンジニアアウト ソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,481,220	275,585	1,756,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,481,220	275,585	1,756,806
セグメント利益	107,975	32,399	140,374

(注1) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計
	エンジニアアウト ソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,531,822	324,255	1,856,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,531,822	324,255	1,856,078
セグメント利益	131,011	15,230	146,241

(注1) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。